



日本をなめるな！ 減税を実現！

上がる物価と税金、上がらない給料と気分。もう先進国と名乗れない経済の低迷。世界に誇るべき技術力を持つ日本中小企業の衰退。自分たちの利益と保身にしか興味がない政治家の劣化。真実を報道しないマスコミ。止まらぬ少子化、消えゆく地方。輸入頼みの日本の食卓。後回しにされる環境保護。解決しないエネルギー問題。いじめや自殺が絶えない学校や会社。子供も大人もどんどん生きにくくなる社会。こうした日本の弱体化を待っていたかのように、土地もインフラも企業も外国資本に買われ、大量の移民が流入する。このままでは日本が日本でなくなる。もう見過ごしてなんてられない。



私たちはまだやれる。日本の未来を諦めない。 **38歳**

参政党公約2024

3つの決意と7つの行動

決意 1 奪われる日本の国土と富を護り抜く。

- 行動 1** 積極財政と減税による経済成長で失われた30年に終止符を打つ。
- 行動 2** 外国資本による日本の買収と過度な移民受け入れに歯止めをかける。

決意 2 失われる日本の食と健康を護り抜く。

- 行動 3** 輸入依存から脱却し食料危機への備えを強化。
- 行動 4** ワクチン薬害問題を党をあげて追究し、被害救済申請の負担軽減と審査の迅速化。

決意 3 壊される日本の教育と国家アイデンティティを護り抜く。

- 行動 5** 日本の国柄と国益を守る国家アイデンティティの確立。
- 行動 6** 若者が未来の社会を動かす国へ。16歳からの投票権。
- 行動 7** 自民党の憲法改正案に反対し、国民自らが憲法を創る「創憲」を推進。



比例も参政党へ

野中しんすけプロフィール

大分県大分市出身。元救急病院の看護師。コロナの政府対応のおかしさからYouTubeの発信を始め、現在SNSの総フォロワーは25万人を超える。大分南高校卒業。県代表としてバレーボールの国体選手として出場する。これから先も、増税路線を押し進めていこうとする政府に対して、減税と積極財政を訴えていき、若者の手取りを増やすと共に子育て世帯が子育てしやすい環境を整えていきます。

野中しんすけ
参政党公認

物価高、国民の悲鳴に耳を傾けよ！

実質賃金はマイナス 大手企業が中心の名目賃金上昇も、輸入物資高騰による物価上昇に追いつかず、実質賃金はマイナスのままです。買い物する度に実感する諸物価の高騰に国民は悲鳴を上げています。今最優先すべきは「物価高対策」です。

アベノミクスは国民生活を苦しくと警告 私は8年前の2016年12月執筆の「きらきら広報15号 アベノミクスと私たちの暮らし」の中で、「異次元金融緩和策は円安により輸入物資を高騰させて物価高を招き、国民の生活を苦しめるだけだ」と警告していました。

自民党政権はいったい何をやってたのか! 資源・エネルギー、食料を輸入に頼る日本が過度な円安に直面すれば、電気、ガス、ガソリン、食料・食品など輸入系の生活必需品が大幅に値上がりして、一般国民の生活が苦しくなることは、8年前から明らかだったことです。自民党政権はいったい何をやってたのか! 物価高に苦しむ国民の悲鳴に耳を傾けよ!

物価高対策、一例としてのガソリン高対策 物価高の根本的解決策は、自民党的「業界優先政治」から「生活者優先政治」への転換です。ガソリン高対策を例に取れば、業界優先の自民党的政策は「石油元売り業界への補助金」です。しかし、補助金全額が消費者に還元されている保証はありません。そして、元売り業界は毎年自民党に5000万円献金しています。業界関係会社はパーティー券を購入しています。因みに、街中のガソリンスタンドは元売り会社や補助金政策に抗いようがなく、悲鳴をあげる消費者と毎日接し、売上・利益も伸び悩む被害者です。一方、生活者優先政治の政策は、リッター25.1円の暫定税率上乘せ分を停止し、そっくりそのまま消費者に還元します。生活者の可処分所得を増やすことが最優先だからです。生活者主権政治こそが物価高対策の主役です。

吉良州司

吉良州司プロフィール

1958年～大分県生、大分市立津留小学校入学、大分市立城東中学校卒業
1976年 大分舞鶴高校卒業
1980年 東京大学法学部・第3類(政治コース)卒業
1980年～2002年 総合商社日商岩井に22年間勤務。ブラジル留学、大分県庁出向、電力プロジェクト部、日商岩井米国会社ニューヨーク本社インフラPJ部長
2003年 4月大分県知事選惜敗 11月衆院選・無所属で初当選後3期連続小選挙区当選
2009年～外務副大臣、外務大臣政務官、民主党政調会・外務部門長・防衛部門長等歴任
2014年～外務委員、経済産業委員、文部科学委員、科学技術特別委員等
2021年～小選挙区当選後、自民党候補に勝った無所属議員と「有志の会」結成、代表に
初当選以降 小選挙区5回当選、九州比例区1回当選 現在6期目



各論と詳細は吉良州司のHPへ
<https://kirashuji.com>

吉良州司の理念と基本政策

- 「生活者主権の国創り」「将来世代優先の政治」「国民一人ひとりの幸せ感を追求する政治」**
 - 自民党的「業界優先政治」から、「生活者主権政治」へと大転換。物価高対策にも資する
 - 子どもへの投資、大胆な子育て家計支援。政策判断は常に将来世代のためになるかを基準
 - 自民党的表面的「経済成長至上主義」から「国民一人ひとりの幸せ感を追求する政治」へ人口減少が進む中、マクロ経済数字拡大には限界があり、国民、将来世代一人ひとりの豊かさ、幸せ感を追求
- 国民の命と健康と生活を最重視する政治**
パンデミック時、災害時など危機に強い医療制度構築、緊急時に困窮する国民と事業者への支援の強化・迅速化
- 幼児教育、学校教育、社会人の学び直しなど、生涯を通じた教育の充実と人材育成**
- 地方の元気で、真に豊かな日本を創る**
地域・地方が主役の国創り。国の権限、財源、一部課税権、生活分野の法律制定権を地域・地方に移譲
- 5つの安全保障の確立(国防、エネルギー安全保障、食料安全保障、命と健康、防災)**
- 国際協調主義と独立自尊主義を共生させる現実的外交**
- 生活者目線の物価高対策。家計所得を最大化し、個人消費を増大させての成長経済**
金利や量的緩和の適正化など生活者優先の経済・金融政策。賃金上昇と物価高対策で可処分所得拡大
- ものづくり重視、資源小国日本の厳しさを直視した現実的産業政策とエネルギー政策**
- 科学技術立国(基礎研究投資、宇宙・環境・生命科学分野等の振興、核融合発電推進)**
科学技術力で新規分野開拓と既存産業の振興と国際競争力向上。ノーベル賞を狙える研究者育成
- 誰もが、何度失敗しても何度でもやり直せる活力ある社会の実現**
厚いセーフティネット構築を含む社会保障の充実。特に失業時の生活保障と学び直し支援の強化



吉良州司
無所属

衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査



投票日は **10月27日(日)**

比例は
日本共産党
とお書きください

「自民党政治」変える!!

ストップ!
裏金政治



日本共産党
山下 かい

●裏金事件を徹底追及。裏金事件をスクープしたのは日本共産党の「しんぶん赤旗」。
今年のJCJ(日本ジャーナリスト会議)大賞を受賞。
●日本共産党は企業・団体献金も政党助成金も受け取らず、禁止・廃止を一貫主張。
日本共産党への一票は、腐敗政治を一掃する確かな力です

山下からの4つのチェンジ

1 チェンジ 家計をあたため、暮らしに安心を

- ★中小企業支援とセットで大幅賃上げ。労働時間1日7時間・週35時間で普通に暮らせる社会へ。
- ★年金を増やし、介護・医療の負担を減らします。
- ★大学教授料の値上げストップ、ただし半額へ。
- ★消費税は廃止をめざし、緊急に5%へ。

2 チェンジ 大軍拡ではなく、9条をいかす平和外交を

- ★数戸への長射程ミサイルの保管庫NO。
- ★日本も核兵器禁止条約に参加を。

3 チェンジ 気候危機の打開を

- ★伊方原発の再稼働ストップ。原発ゼロへ。
- ★再エネ、省エネの普及で、雇用も増やします。

4 チェンジ ジェンダー平等の社会を

- ★男女の賃金格差をなくします。
- ★選択制夫婦別姓の実現を。

詳細はホームページ

日本共産党



<http://www.jcp.or.jp/>



山下かい略歴

◎日本共産党大分県書記長
《家族》妻と長女と3人暮らし
《趣味》山登り(祖母山、傾山が好きです)



X(旧Twitter)
@kai02yamashita

山下かい事務所 大分市南津留22-5
電話097-574-7881

くらしを守り、
未来を切り拓く。

くらしを守る

未来を切り拓く

- 1 物価高の克服と賃上げの実現
 - 2 徹底した災害対策と被害地の復旧・復興
 - 3 安心できる医療・介護・福祉の充実
 - 4 サポートが必要な方、困難を抱えた方に寄り添う支援
 - 5 生きる力を育てる教育と人への投資
 - 6 いのちとくらしを守る防衛力の強化
- 1 子どもを社会全体で育てるための支援
 - 2 企業の成長を全力サポート
 - 3 農林水産業の成長産業化と所得向上
 - 4 先端科学技術と脱炭素に大胆投資
 - 5 東九州新幹線を具体的な計画に移行
 - 6 日本国憲法を新しい時代の憲法に

えとう博昭(ひろあき)プロフィール

1979年(昭和54年)11月25日生まれ
大分市立住吉小学校
大分市立碩田中学校
大分県立大分上野丘高校
慶應義塾大学商学部
三菱重工に入社
鉄道などの交通インフラ部門に配属され、工場の現場事務所や建設プロジェクトに勤務。マカオの新交通システムプロジェクトの立ち上げや、シンガポールの新交通システム輸送力増強工事に現地で事務マネージャーとして携わる。

2015年(平成27年)大分県議会議員選挙に挑戦して初当選
子育て世代の代弁者として、子育て支援の充実を訴え、企業での経験を基に経済の活性化、交通政策、災害に強い街づくりに取り組む。

2019年(平成31年)大分県議会議員選挙で2期目の当選
新型コロナウイルス感染症対策の世界的な感染拡大に対して、福祉保健生活環境委員会委員長、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会副委員長として医療現場のサポート体制構築など現場の課題解決にあたる。

【家族】妻・長男・次男・長女・三男
【趣味】読書/ジョギング/子どもと将棋
【好きな言葉】独立自尊
【好きな食べ物】とんかつ、スイーツ、ハンバーガー



自民党公認
えとう博昭
ひろあき

自民党

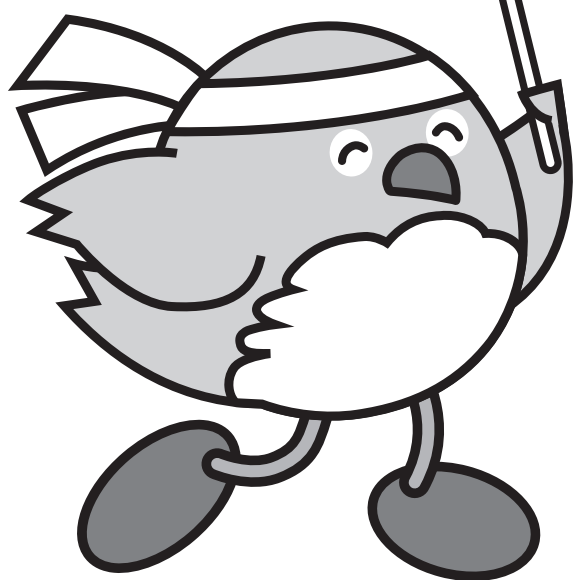


友だち追加をお願いします!

えとう博昭公式ホームページ
etohiroaki.com

衆議院議員総選挙
最高裁判所裁判官国民審査

明るい選挙



投票日は**10月27日(日)**

大分県選挙管理委員会